

授業科目	LA1A04	2単位	選択	講義	1学年前期	担当教員	教授 松浦 信二						
	日本国憲法												
授業の概要	①憲法の意味と種類、日本国憲法の基本原理について学習し、日本国憲法誕生の経緯について理解する。 ②明治憲法との違い、人権、人権の制約、日本国憲法の人権分類と適用について理解する。 ③幸福追求権と「公共の福祉」について学習し、新しい人権として、プライバシーの権利、自己決定権について理解する。 ④平等についての意味、思想・良心の自由、信教の自由について学習し、学問の自由や表現の自由について理解する。 ⑤財産権の保障、社会権と生存権の関係について学習し、社会保障制度、社会保険、公的扶助、社会福祉について理解する。 ⑥三権分立、国会、内閣の役割と機能について学習し、平和主義、国民主権、基本的人権の尊重について理解する。												
到達目標					学習成果Ⅰ			学習成果Ⅱ			学習成果Ⅲ		
					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1. 憲法とは何か、日本国憲法誕生の経緯について理解する。									◎		○	◎	
2. 日本国憲法と明治憲法との違いについて理解を深める。						○			○		○	◎	
3. 国民主権、平和主義、基本的人権の尊重について考察する。						○	◎		○	◎		○	
4. 国の組織として、国会、衆議院と参議院、総理大臣、裁判所について理解する。						○					◎	○	
凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はVページ参照													
	主 題	準備学習	本時の学習内容と到達目標					復 習					
1	オリエンテーション 第1章「保育者をめざすみなさんと日本国憲法」	シラバスに目を通しておく。 教科書第1章P14～P23までを読んでおく。	授業の進め方および評価の方法を理解する。 憲法の意味と種類、日本国憲法の基本原理について理解する。					推薦図書など関連する文献を読む。					
2	第2章「日本国憲法とは-その成立と特徴」	教科書第2章P26～P36までを読んでおく。	日本国憲法誕生の経緯について理解する。大日本帝国憲法（明治憲法）と日本国憲法の違いについて理解する。					日本国憲法誕生の経緯についてまとめる。日本国憲法と明治憲法の違いについてまとめる。					
3	第3章「人として生まれながらにもちうる権利」	教科書第3章P38～P45までを読んでおく。	人権、人権の制約、日本国憲法の人権分類と適用について理解する。					人権、人権の制約についてまとめる。					
4	第4章「個人の尊重と幸せに生きる権利」（幸福追求権）	教科書第4章P50～P58までを読んでおく。	幸福追求権と「公共の福祉」について理解する。 新しい人権として、プライバシーの権利、自己決定権について理解する。					公共の福祉に反しないかぎりとはどのようなことかまとめる。					
5	第5章「法の下での平等」	教科書第5章P64～P74までを読んでおく。	平等の意味について理解する。法の下での平等の現代的課題について理解する。					法の下での平等の現代的課題についてまとめる。					
6	第6章「自由に考え、信仰する自由」	教科書第6章P78～P87までを読んでおく。	思想・良心の自由、信教の自由の意味について理解する。					思想・良心、信教の保障の内容についてまとめる。					

7	第7章「自由に学び表現する権利」	教科書第7章P90～P101までを読んでおく。	学問の自由、表現の自由の内容と限界について理解する。	自由に学び表現することの大切さについてまとめる。
8	第8章「自由に職業や住む場所を選べる権利」(経済的自由権)	教科書第8章P104～P111までを読んでおく。	職業選択の自由、財産権の保障について理解する。	職業選択の自由とは何かについてまとめる。
9	第9章「不安なく生きる権利」	教科書第9章P114～P122までを読んでおく。	社会権と生存権の関係について理解する。社会保障制度、社会保険、公的扶助、社会福祉について理解する。	社会保障制度についてまとめる。
10	第10章「教育を受ける権利と義務」	教科書第10章P126～P132までを読んでおく。	教育を受ける権利を保障する法体系について理解する。	幼児期における学習権の保障についてまとめる。
11	第11章「労働者の権利」	教科書第11章P136～P142までを読んでおく。	労働条件の最低基準を定めた労働基準法について理解する。	労働者の権利をめぐる最近の問題についてまとめる。
12	第12章「国を治める仕組み」	教科書第12章P144～P158までを読んでおく。	三権分立、国会、内閣の役割と機能について理解する。	内閣の役割と機能についてまとめる。
13	第13章「裁判所の役割と仕組み」	教科書第13章P160～P171までを読んでおく。	裁判の種類、裁判所の組織と機能、違憲審査制について理解する。	裁判所の組織と機能についてまとめる。
14	第14章「平和主義と国を守ること」安全保障、自衛隊の存在	教科書第14章P174～P180までを読んでおく。	日本国憲法の平和主義、自衛隊と日米安全保障条約について理解する。	日本国憲法第九条についての自分の意見をまとめる。
15	第15章「憲法的な人権尊重と福祉のおもいやり」	教科書第15章P182～P0までを読んでおく。	日本国憲法の基本原理である国民主権、平和主義、基本的人権の尊重について理解する。	国民主権、平和主義、基本的人権の尊重について確認する。
成績評価	授業への取り組み(20%) 課題等の提出(20%) 期末試験(60%) 合計100%			
教員からのコメント	保育士資格と幼稚園教諭を目指すうえで、日本国憲法第25条の生存権をはじめとした基本的人権についての理解が必要です。日本国憲法の基本原理である国民主権、平和主義、基本的人権の尊重について理解してもらいたい。社会人としての教養として、国民の権利と義務について理解してもらいたい。保育者として、子どもの人権、プライバシーの保護といった人権意識を高めてもらいたい。			
教科書	著書「保育と日本国憲法」 著者 橋本勇人 発行所 株式会社 みらい	推薦図書	著書「池上彰の憲法入門」 著者 池上彰 発行所 新潮社	

